Arcserve UDP Cloud Hybrid

スタートアップ ガイド

Rev. 2.1



2019年9月	Rev1.0 リリース
2019年12月	Rev1.1 リリース
2020年1月	Rev1.1a リリース
2020年2月	Rev1.2 リリース
2021年2月	Rev1.3 リリース
2021年9月	Rev2.0 リリース Arcserve UDP 8.0 対応
2022年11月	Rev2.1 リリース Arcserve UDP 8.1 対応



Rev:2.1

Arcserve UDP Cloud Hybrid 1.1 スタートアップ ガイド

Arcserve UDP Cloud Hybrid スタートアップ ガイド1			
はじめに1			
1. 利用環境について3			
1.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid 動作要件3			
1.2 2 つの Arcserve UDP コンソールとそれぞれの役割4			
2. Arcserve UDP Cloud Hybrid への接続方法5			
2.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報の確認5			
2.2 Arcserve UDP Cloud コンソールへの接続6			
2.3 QR コードによる多要素認証の有効化7			
2.4 メールによる確認コードの送信設定9			
3. Arcserve UDP Cloud Hybrid のバックアップ データの保存設定11			
3.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘレプリケートするプランの利用方法11			
3.2 Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールでのレプリケート プランの新規作成方法14			
3.3 Microsoft 365 のバックアップ17			
4. Arcserve UDP Cloud Hybrid からのデータの復旧18			
4.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid からの逆向きレプリケート18			
4.2 リバース レプリケーションの実行			
4.3 ファイル/フォルダのダウンロード(Windows/UNC パス)29			
4.4 Microsoft 365 のリストア			
4.5 ファイル/フォルダのダウンロード(Linux)31			
4.6 WebDAV を使用したデータのダウンロード(Linux)34			
5. 代替 VM の起動とアクセス38			



5 5 5 5	 .1 OpenVPN クライアントを利用したポイント対サイト接続	39 41 46 46
5	.5 Cloud Hybrid とのサイト対サイト VPN	46
6. 6	その他の機能	+7 47
6 6	.2 メール通知 .3 レポート	47 48
7.	製品情報と無償トレーニング情報4	ŀ9
7 7	.1 製品情報および FAQ はこちら	49 49
7 7 8.	.1 製品情報および FAQ はこちら .2 Arcserve UDP トレーニング情報 <参考情報>サイト障害発生時の運用のヒント5	49 49 50
7 7 8. 8	.1 製品情報および FAQ はこちら	49 49 50 50
7 7 8. 8 8 8 8 8 8	 .1 製品情報および FAQ はこちら	49 49 50 50 50 50 50 51



はじめに

Arcserve UDP Cloud Hybrid は、Arcserve UDP の機能を利用し、遠隔地のクラウドにバックアップ データを保存する サービスです。以下の使い方があります。

BaaS (Backup as a Service : バックアップ サービス)

- Arcserve UDP/UDP Appliance のバックアップデータのレプリケート(複製)

Arcserve UDP でオンプレミス(お客様サイト)復旧ポイントサーバ (以降 RPS と表記)に取得したバックアップ データを Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製(レプリケート)し2次保管します。災害などによりお客様サイト のバックアップ データが失われた場合は、Arcserve UDP Cloud Hybrid からバックアップ データを逆向きにレプ リケートし、システムを復旧できます。



- Microsoft 365 の 1 次バックアップ

Microsoft 365 から直接、Arcserve UDP Cloud Hybrid へ Cloud to Cloud でバックアップを取得します。





• DRaaS (Disaster Recovery as a Service : 惨事復旧サービス)

Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製レプリケートしたバックアップ データから、インスタント VM/仮想スタンバ イ機能を利用し、代替仮想マシンを起動します。お客様サイトでサーバ障害があった際には、この代替 VM に VPN 経由でアクセスして業務を継続できます。Arcserve UDP Cloud Hybrid 契約時に、最低1つの代替 VM 用コンピ ュート リソースのサブスクリプションを購入_※する必要があります。

※ 既存の BaaS 環境に、コンピュート リソースのサブスクリプションを追加することはできません。DRaaS 環境へ変更する場合は、新しく 環境を作り直す必要があります。





Rev:2.1

1. 利用環境について

1.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid 動作要件

Arcserve UDP ソフトウェアまたはアプライアンスの RPS からバックアップ データを Arcserve UDP Cloud Hybrid にレ プリケート(複製)できます。複製元としてサポートされる Arcserve UDP のバージョンは以下の動作要件をご確認くだ さい。

Arcserve UDP Cloud Hybrid 動作要件

利用するポート:

お客様環境の Arcserve UDP と Arcserve UDP Cloud Hybrid との接続を確立するために、お客様環境において以下の通 信を許可する必要があります。

BaaS : レプリケーション用 TCP/8014、8015(送信/受信) SFTP クライアント用 TCP/37037(送信)

DRaaS:上記の他、Linux ファイルのリストア用 TCP/8018(送信)、 OpenVPN 用 UDP/1194(送信)

PowerShell のコマンドを使って、Arcserve UDP Cloud Hybrid との接続に必要なポートの疎通を 確認できます。

オンプレミス環境の UDP コンソールと復旧ポイントサーバから Port 8015 での疎通を確認する場合

コマンド実行例: Test-NetConnection <	Arcserve Cloud	Hybrid FQDN>	-Port 8015
-------------------------------	----------------	--------------	------------

PS C:¥> Test-NetC	onnection on pareserve pl or coervel com -Port 8015
ComputerName RemoteAddress RemotePort InterfaceAlias SourceAddress	<pre>chj-arcscrvc_pl.eroserve'.com : chj-arcscrvc_pl.eroserve'.com : 710 110 185 27 : 8015 : イーサネット : 192.168.0.13</pre>
TcpTestSucceeded	: True

上記例のように、[TcpTestSucceeded]の値が「True」になっていれば疎通は取れています。



1.2 2 つの Arcserve UDP コンソールとそれぞれの役割

Arcserve UDP Cloud Hybrid には Arcserve UDP コンソールがインストールされています。本ガイドではこの Arcserve UDP コンソールを 「Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール」 と呼び、お客様環境の Arcserve UDP コンソールと 区別します。

Arcserve UDP Cloud Hybrid にお客様環境のバックアップ データをレプリケートする場合、以下のように、Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールとお客様環境の Arcserve UDP コンソールをそれぞれ使用します。

1) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールでバックアップ データをレプリケートする共有プランを作成する。

2) お客様環境の Arcserve UDP コンソールでプランを作成し、追加タスクとして 1) で作成したプランを追加する。



この他、Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールでは Microsoft 365 のバックアップやリストアも行えます。



2. Arcserve UDP Cloud Hybrid への接続方法

2.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報の確認

Arcserve UDP Cloud Hybrid のサブスクリプションを購入すると、Arcserve から[Arcserve UDP Cloud Hybrid サービ ス接続情報のお知らせ]という件名のメールが届きます。このうち、以下の情報が Arcserve UDP Cloud Hybrid 上の Arcserve UDP コンソールへの接続に必要です。

・Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンソール URL、ユーザ名とパスワード

<[Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報のお知らせ] メール サンプル>

この度は弊社、Arcserve UDP Cloud Hybird サービスをご購入頂き誠にありがとうござい サービスへの接続情報をお知らせいたします。↓	います。↓
以下情報で Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにアクセスし、ご利用を開始してく	ださい。J
Order :	
ユーザ名:	
Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL : <u>https://</u>	Ų
Arcserve。 UDP Cloud Hybrid スタートアップ ガイド はこちらをクリックしてくださいし	
Arcserves UDP Cloud Hybrid オンライン ヘルプ はこちら をクリックしてくださいし	

Arcserve UDP Cloud Hybrid の Global IP アドレスの調べ方

接続先の Global IP アドレスを確認する方法は、コマンドプロンプトの nslookup コマンドで確認できます。

nslookup <Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL に記載の FQDN>

回言 管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.685] (c) 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:¥WINDOW8¥system32>nslookup <mark>Cloud Hybrid <fqdn></fqdn></mark> サーバー: Address: J
権限のない回答: 名前: Cloud Hybrid <fqdn> Address: Global IP アドレス</fqdn>



2.2 Arcserve UDP Cloud コンソールへの接続

 メールに記載された [Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL] をブラウザに入力(またはメール中の URL を クリック)します。ログイン画面が表示されたら、[ユーザ名]、[パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックし ます。



(2) [環境設定ウィザード]が表示されたら、[キャンセル]をクリックし、ウィザードを閉じます。

Serve ODA SHOE	XENTY THE KE
	ラン 細ジランは、アークをパックアッカ、小麦に広ってお日本・ハイ に通知の7号編シスペ 実行することにより、アークを保護する方法を15種 るのに後次を出す。これはは、ノブリアーション、使用スタンバイ、テーブへの使用ホイントのコピールのが含まれ出す。 のコイザード dt、ITLIDT家ノードならテージと外のシックするシング人の保護プランを作成する手製を示します。
	1. 保護プランで提供する保護の理想を指定します。 I. ジェントベース パックアッパイトス We saws または Linux マンジを保険できます。またはホストベース エージェントレス パック アップを介して低限シング 保護できます。
	2. 保護するノードを追加します。 (学品の地域に応じて、ノートを得出ましび追加さる方法と道理できます。
Ð	 バックアップのデスティネーションを選択します。 ネットワーク共有 保護されている / ド上のボリューム、注目ボイント ワーパ上のアーキ ストアを調用できます。
Θ	4. パックアップのスケジュールを設定します。 ノードニのエージェント・バア・ウェアのインストールアップリレード、意味のパックアップ(フルパックアップ)、検索の日次増先パック アップのスケジュールを設定できます。
カルシンのページを表示し、	10.



(3) 確認ダイアログが表示されるので、[はい]をクリックします。



(4) [リソース] タブの [デスティネーション] - [復旧ポイント サーバ] を開き、復旧ポイントサーバ(RPS)上にデータ ストアが作成されていることを確認します。

arcserve" INFED DATA PROTECTION			
ダッシュボード リソース ジョ	ブーレポート ログ 設定 デスティネーション 復旧ポイントサール	t.	
▶ ノード ▶ 仮想スタンパイ	アクション・		
▷ プ ラン	名前	አም-ዓአ	
▲ アステイネーション 復旧ポイント サーバ	 8 Constructions 		
Arcserve Backupサーバ 共有フォルダ	20-20 C	۰	

2.3 QR コードによる多要素認証の有効化

Arcserve UDP 8.1 以降のインスタンスをご利用のお客様は、Arcserve UDP Cloud Hybrid の FQDN、ユーザ名 や パス ワードが万が一漏洩した場合に備え、多要素認証の有効化できます。

多要素認証を有効化することで、ユーザ名とパスワードだけでなく、登録済の認証アプリやメールから確認コード

(TOTP・OTP パスワード)を入手しなければ、ログインできないように制限されます。

これにより安全に Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のバックアップデータを管理できます。

※ ご利用中の Arcserve UDP Cloud Hybrid インスタンスのバージョンアップをご希望のお客様は、Arcserve テクニカル サポートまでお問合せください。

多要素認証を有効化するには、Arcserve テクニカル サポートへご連絡いただき、機能の有効化をお申しつけください。 その後、次の手順をご確認ください。





ログイ

	現在の Windows 認証情報 (IWA) を使用してログイン しよす。
(2)	QR コードを表示させるには、[続行] をクリックします。
	arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION
	1019 温温が実施になっていません。実施にしてください。
	スキャン1巻 QR コードを表示してユーザを素質
	展行。キャンセル

(3) QR コードが表示されるので、認証アプリ (Google Authenticator 等)で QR コードを読み取ります。



______※Salesforce Authenticator の利用例

認証アプリのユーザ名、FQDN 等を確認し、[続行]をクリックします。



(4) 入手した確認コードを入力し、[認証]をクリックします。



2.4 メールによる確認コードの送信設定

認証アプリ以外でも、メールを利用して確認コードを送信できます。

確認コードをメールで受信するには、Arcserve テクニカル サポートへ以下の情報の提供が必要となります。

- ◆ メールサーバ (基本認証で接続可能なメールサービス)
- ◆ ポート番号 (メールサーバのポート番号)
- ◆ 認証が必要なメールサーバの場合、アカウント名とパスワード
- ◆ 送信者メールアカウント
- ◆ STARTLS 設定の要否

これらの情報を Arcserve テクニカル サポートへお伝えいただき、設定完了後、以下の手順を行います。

(1) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールへログイン、[設定]を選択し、ユーザ管理をクリックします。※多要素認証が有効化されると [ユーザ管理] が表示されます。

arcserve	INIFIED DATA PROTECTION	
ダッシュポード リソース ジョン	ノレポート ログ 設定	
≪ S5M 環境設定 ノード デベルが 別 設定 電子メール(アラートの 環境設定 共会 (テ) ユーダ管理	 ● 有効 ○ 無効 繰り返し方法 指定で目効ごと ▼ MIK 1 目 (1-000) スケジュールされた時刻 7 ▼: 00 ▼ 	



(2) [OTP コードを受信する電子メール ID:]の欄へ、確認コード(OTP パスワード)の受信先となるメールアドレスを 入力します。複数のメールアドレスへ送信する場合は (,カンマ)で区切って登録できます。

メールアドレスの入力が完了したら、保存をクリックします。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION				
タジャボード リカース・ジョ	タジャボード リシース ジャブーレボート ログ 数定			
	- &*Z###			
599 保守部分 リード デルアパリ後辺 電子が 見たフォトの構成形式 大売すい ローが管理	コワインしにユーザの GRロード 育成			
	ントローや分野(84巻)ペーン(1)	<u>設置使めまま</u> 		

注意!: [<u>秘密鍵の更新</u>]をクリックしてしまうと、QR コードが更新されてしまいます。その場合、認証アプリで再 登録が必要となるのでご注意ください。

(3) 次回ログオン時、確認コード入力画面で [電子メールで確認コードを取得する] をクリックすると設定したメールアド レスに確認コードを記載したメールが送信されます。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION	 δ answering constant of the set of the se
モバイル アプリケーションによって生成された、または電 子メールで受信した確認コードを入力してください。	Search Image: search </th
確認コード ヘルプ 課題 電子メールで確認コードを取得する	Ancserve UDP - 時間単位のソン タイム パスワード
注: 確認コードを受信するには、[設定] -> (ユーザ管理] -> 電子メール ID] で電子メール アドレスが設定されている ことを確認してください	Accessed Unite G 機変には、機能に、ドナレス Tormer からまして くらさい。
注: ログインできない場合は、管理者または Arcserve サポ ートにお願い合わせください。	ACRESC CARRENT COLOR OF SOUTH



3. Arcserve UDP Cloud Hybrid のバックアップ データの保存設定

3.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘレプリケートするプランの利用方法

Arcserve UDP Cloud Hybrid では、バックアップ データをレプリケートするためのプランがデフォルトで3つ用意されています。本節ではデフォルトで用意されているプランの利用方法を説明します。

 Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにログインし、[リソース] タブで、[プラン]-[すべてのプラン] をクリッ クすると、3 つのプランが用意されていることが確認できます。



この3つのプランはあらかじめ共有設定が施されており、お客様環境の RPS から Arcserve UDP Cloud Hybrid へのレプリケートに利用できます。

```
<各プラン復旧ポイントの保存数>
```

```
[プラン名] レプリケート(31D 1W 1M 1C)
日次バックアップ:31
週次バックアップ:1
月次バックアップ:1
カスタムバックアップ:1
```

```
    [プラン名] レプリケート(5D 1W 1M 1C)
    日次バックアップ:5
    週次バックアップ:1
    月次バックアップ:1
    カスタムバックアップ:1
```



[プラン名] レプリケート(7D 5W 12M 31C) 日次バックアップ:7 週次バックアップ:5 月次バックアップ:12 カスタムバックアップ:31

(2) お客様環境の Arcserve UDP/Appliance のコンソールにログインし、プランにお客様サイトの RPS から Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘバックアップデータを転送するタスクを追加します。
 追加するタスクは、[リモートで管理されている RPS へのレプリケート]です。
 プランの例
 タスク 1: バックアップ エージェント ベース Windows (バックアップ先(デスティネーション)は RPS)

タスク 2: リモートで管理されている RPS へのレプリケート (Arcserve UDP Cloud Hybrid へのレプリケート)

ブランの変更	パックアップーOk	□		
9,201 /100700 I-Sich 📀	33.76 種類	リモートで管理されている RFS へのレプリ	∀ 5515 +	
A. Y. Dunas	2	アシュアード リカバリ テスト テーヴへのコピー		
タスク2 リモートで管理されている RPS へのレブリケート		リモートで管理されている RFG ハのレブリ レブリシート	17 - 1×	
	第1日ポイントのし	ታ <i>ነት -</i> ኮ ਜ \$ 251: ሃቃንፑስታ: T - ቻርን ኮ	M−⊼ Linux	

※ 同一プラン内に複数のバックアップ対象があると、それらも全て Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘレプリケート
 されてしまいます。特定のノードをレプリケートしたい場合は、「バックアップ+レプリケート」 するプランと
 「バックアップ」のみプランに分割してください。



 (3) [リモートで管理されている RPS へのレプリケート] タスクの [デスティネーション] タブでは、受信した電子メール [Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報のお知らせ] (P2 参考)の情報を使用して、リモート コンソールの FQDN (Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンソール)、ユーザ名、およびパスワードを追加し [OK] をクリックしま

リモート コンソールの	ili bo	>
リモート エンシール		
2-98		
/29-k		
78-5x	8015	
βahauk	Онте ®ння	
□ フロネシ ナー/乾使目	して機械する ジロキシの定	
		-

(4) [リモート コンソールの追加] が完了後、[接続] をクリックします。3.1.(1)に記載された Arcserve UDP Cloud
 Hybrid のデフォルト共有レプリケートプランが読み込まれます。この中から適切なプランを選択します。

	接続	
プラン	レプリケート (31 D_1 W_1 M_1 C)	-
レプリケーション ジョブ失敗時:	レプリケート (31 <u>D_1W_1M_1</u> C) レプリケート (7 <u>D_5W_12M_3</u> 1C) レプリケート (5 <u>D_1W_1M_</u> 1C)	
再試行開始	10	分後(1 ~ 60)
再試行開始	3	□ (1~99)

(5) その後、プランを保存し、バックアップの後にレプリケートが行なわれることを確認します。初回のレプリケートは 重複排除されたフル バックアップ相当のデータが転送されるのでご注意ください。



3.2 Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールでのレプリケート プランの新規作成方法

Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールでは、デフォルトで作成されている 3 つのプランとは異なるレプリケートのため のプランを作成することもできます。ここでは例として以下のバックアップ データの世代数を保持する共有レプリケート プランを作成します。

共有レプリケートプラン:日次増分4世代、週次増分3世代、月次増分2世代、カスタム増分1世代

(1) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにログイン、[リソース] タブの左ペイン内にあるプランを展開し、

すべてのプランを選択します。アクションの右にある [プランの追加] をクリックします。

ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョ	ョブ レポート ログ 設定
	ĸ プラン: すべてのプラン
▲ ノード すべてのノード	アクション 🗸 📋 プランの追加
プランのないノード Linux ノード	プラン名
▶ プラン グループ	
▲ フラン すべてのプラン	
⊿ デスティネーション	

(2) プランの追加画面が表示されるので、先ずはプラン名を追加します。

レプリケート元の Arcserve UDP コンソールから見る際に何世代が保持されるのか判断しやすいプラン名をつける ことをお薦めします。

ここでは、設定例に基づいて 「レプリケート (4D_3W_2M_1C)」とし、タスクの種類から [リモートで管理されている RPS からレプリケート] をクリックします。

ブランの追加	レジウート(4	D,3W(2M,10)	□ このブランを一時停止
9701	タスクの種類	タスクタイプの選択	
		パックアップ Office 365 Exchange Online パックアップ Office 365 OneDrive パックアップ Office 365 SharePoint Online パックアップ Onacle データペース パックアップ UNO または NPS パス 上のファイ パックアップ エージェントペース Linux パックアップ エージェントペース Windows パックアップ エージェントペース エージェントレス	6
		リモートで管理されている RFS からレブリケート	



(3) [ソース] タブが選択されている状態から [デスティネーション] タブ をクリックし、復旧ポイント サーバ と データストアが正しく反映されているかを確認します。

プランの追加	レブルケート (40,3%,2M,1C)	□ このブランを一時停止
タスク1.リモートで管理されている RPS からレブリケート	タスクの種類 リモートで管	理念れている RPS からレブリケート・
 多スタの進力 	ソース デスティイ	キーション スケジュール 拡張
熟品のインストール	復旧ポイント サーバ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	データストフ サーバは NAT ルータの後方にあ	→ → →

(4) 次に [スケジュール] タブをクリックし、各バックアップの復旧ポイントの世代数を入力します。
 設定例に合わせ、日次バックアップ:4、週次バックアップ:3、月次バックアップ:2、
 カスタム/手動バックアップ:1に変更します。

ソース デスティ	ネーション スケジュール	拡張	Ē						
●追加	亲								
タイプ 説明		B	月	火	水	木	金	±	時刻
復旧ポイントの保存	日次バックアップ			4					
	週次バックアップ			з					
	月次バックアップ			2					
	カスタム/手動バックアッフ	9		1					

(5) [拡張] タブをクリックし、取得設定 - 復旧ポイントの取得の許可 をチェック し保存をクリックします。 必要に応じて 電子メールアラートの有効化をしてください。

プランの追加	North (Company) District Hat	64 5 6252 4.32
472) - ×16 . 397	27.558 (m) Min	- ⊘ telesanti (
😑 sutust	9-3 J37××-949 2001-1 10 ↔	
7886 9/1/3・一ル	មផងត ា 🥵 តារវេទាសេរី ២៩។ ។	
	第1分 LTD FATTRE 🔲 LTD FATTRE	

※ Arcserve UDP 8.0 以降の機能であるリバース レプリケーション機能(後述)の利用には、[復旧ポイントの取 得の許可] が有効である必要があります。



(6) 新たに作成したプランを共有するために、[設定] タブから左ペインの [共有プラン] をクリックします。ユーザ アカウントの [clouduser] にチェックし、[編集] をクリックします。

あらっか ドーリア ス	ジョナーンボート 口佐 福田		
55.55 湖梨設立 25.14 元45.75 湖安			**
電子を ルイファートを構施設定	N T A MUSE	201	
2622	😰 clouduser		レジジジード (3D_1V_1N_1C) レブリケード (3D_1V_1N_1C) レブリケード (7D_9V_1N_3C)

(7) ユーザへのプランの割り当てウィンドウで今回作成したプランにチェックし、[>]をクリックしプランを追加しま す。追加されたことを確認し、[OK] をクリックします。

エーザへのプランの制り着て		選択されたプラン
2-0 170 - 201 使用可能なブラン	選択されたプラン	 ■ プジン名 ■ レンリシート(b0_1W_1M_1C)
 37×6 レブリタート(00_1W_1 K_1 C) レブリタート(00_1W_1 K_1 C) レブリタート(00_1W_1 K_1 C) レブリタート(10_0K_1 2V_0)(0) 	■ パラン5 ■ レブリケート (00_1W_1N_10) ■ レブリケート (00_0W_1N_10) ■ レブリケート (00_0W_100_910)	 レブリクート(31D_1W_1M_1C) レブリケート(70_5W_17M_310) レブリケート(70_5W_27M_310) レブリケート(70_5W_27M_10) 休憩したプランが追加されました。 く
43.5	10 96,020	100K (\$\$\$22)

ALC ALK BUS		
図 ユーザアルシント	1024FL	ערל
🕑 clouduser		レプリケート (70_5W_12W_310) レプリケート (310_1W_1M_10) レプリケート (30_3W_2M_10) レプリケート (50_1W_1M_10)



(8) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール上で新たに作成したプランを使ってレプリケーションするために、オン プレミスの Arcserve UDP コンソールにログインし、既存のプランを開きます。操作手順の詳細は 3.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘレプリケートするプランの利用方法 をご確認ください。

[接続] をクリックすることで、 	新たに追加された共有ブ	ランを選択できるようになり)ます。
	接続		
プラン	レプリケート (5D_1W_1M_1C)	-	
レプリケーション ジョブ失敗時:	レプリケート (5D_1W_1M_1C) レプリケート (31D_1W_1M_1C) レプリケート (7D_5W_12M_31C)		
再試行開始	レプリケート (4D_3W_2M_1C)		
再試行開始	3	□ (1 [~] 99)	
L			

3.3 Microsoft 365 のバックアップ

Microsoft 365 のバックアップ先として Arcserve UDP Cloud Hybrid を利用できます。Microsoft 365 のバックアップ設定は、Arcserve UDP と同様です。詳細は Arcserve UDP のバックアップ/リストア ガイドを参照ください。

Arcserve UDP 8. x Microsoft 365 バックアップ/リストア ガイド udp-80-M365-backup-guide.pdf (arcserve.com)



4. Arcserve UDP Cloud Hybrid からのデータの復旧

Arcserve UDP 8.0 以上のお客様環境および、Arcserve UDP Cloud Hybrid インスタンスでは、これまでの逆向きレプリ ケーション(レプリケート)に加え、新たなデータ復旧手段である、リバース レプリケーションが追加されました。 ※ 4.2 で新機能のデータ復旧方法を紹介しています。

4.1 Arcserve UDP Cloud Hybrid からの逆向きレプリケート

お客様環境の RPS 上のバックアップ データが全損した場合、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のデータを逆向きにレプリ ケートしてオンプレミス環境にある RPS のデータストア全体を復旧できます。

※ 逆向きレプリケートを行うには、お客様のネットワーク環境が以下の要件を満たしている必要があります。

要件1:固定 IP 接続サービスをご利用中であること

インターネット接続に利用する Global IP アドレスが変動する環境の場合、Arcserve Cloud Hybrid 側で 登録した Global IP アドレスが、逆向きレプリケーション動作時に利用できない可能性が考えられます。

- 要件 2: Arcserve UDP Cloud Hybrid から、お客様環境の RPS のホスト名を要件 1 の固定 Global IP アドレスで解決できること(Arcserve テクニカル サポートにご連絡いただければ、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で Hosts ファイルの編集などを行ないます。)
- 要件 3: Arcserve UDP Cloud Hybrid から お客様環境の RPS および Arcserve UDP コンソールに、ポートフォワ ード等で TCP 8014/8015 ポートでアクセスできること

破損状況に応じて複数の復旧シナリオがあります。本節では、お客様環境の RPS およびバックアップ データが完全に破 損した状況を想定し、新しい RPS にデータをレプリケートする方法を記載します。

<お客様環境の設定>

- お客様環境に新しい Arcserve UDP コンソール/重複排除が有効な RPS 環境を準備します。バックアップ データを 保存する十分な容量を持ち、Arcserve UDP 8.x または 動作要件を満たす Windows サーバを用意します。
- (2) リモート管理の RPS からレプリケートするために、(1)の Windows サーバ上で、Administrator 以外のローカル 管理者権限を持つユーザを1つ以上準備します。この例では、「udp-remote」ユーザを作成し、利用していま す。
- (3) (1) の Windows サーバに Arcserve UDP のフル コンポーネントをインストールします。



(4) Arcserve UDP コンソールにログインし [リソース] タブの [デスティネーション] - [復旧ポイント サーバ] にて RPS を右クリックから、[データ ストアの追加] でデータ ストアを作成します。
※ データ ストアは、デデュプリケーション(重複排除) および暗号化を有効にする必要があります。デデュプリ ケーション ブロック サイズは Arcserve UDP Cloud Hybrid と同じブロック サイズ (東日本リージョンは "16KB"、西日本リージョンは "64KB") にしてください。それ以外のブロック サイズ を指定すると転送効率が下 がります。

(参考:データストアの作成画面)

データストアの作成		
一般ルールを参照するか、デデュプリケーショ	いのストレージ容量要件を次で推定できます: <u>要件プランニングのクイックリファレンス。</u>	
🕕 デデュブリケーション、 圧縮、暗号化を有	効化または無効化する設定は、データストアの作成後は変更できません。	
復旧ポイントサーバ	udp-svr	
データ ストア名	DS001	
データ ストア フォルダ	G:¥ds001¥ds	参照
同時アクティブ ノードの制限	4	
☑ デデュプリケーションの有効化		
デデュプリケーション ブロック サイズ	64 KB デデュプリケーション テープ バックアップ リストア	
ハッシュ メモリの割り当て	9052 MB (最大: 16382 MB、最小: 1024 MB)	
🗌 ハッシュ デスティネーションは SS	3D (Solid State Drive) 上にある	
データ デスティネーション	G:¥ds001¥data	参照
インデックス デスティネーション	G:¥ds001¥ind	参照
ハッシュ デスティネーション	G:¥ds001¥hush	参照
▼ 圧縮を有効にする		
圧縮タイプ	 ●標準 ○最大 	
☑ 暗号化の有効化		
暗号化パスワード	•••••	
暗号化パスワードの確認	••••••• ~	
□ デスティネーションの容量が上限に。	丘づくと、電子メール アラートを送信する	



(5) [リモートで管理されている RPS からレプリケート] プランを作成します。[リソース] タブにて、[すべてのプラン] - [プランの追加] をクリックし、[タスク 1] の [タスクの種類] から、 [リモートで管理されている RPS からレプリケート] を選択します。

パース レブパ	t-Sab	◎このプランを一時停止
0.000	タスク タイプの運営	
	パックアップ Office 365 Exchange Onlin パックアップ Office 365 OneDrive パックアップ Office 365 SharePoint Onl パックアップ UNC 素丸型 NFS パス上のフ パックアップ エージェントペース Unix パックアップ エージェントペース Windows Rodアップ オストビース エージェントペース	e ne 715
	30 9 1	(クロ種類) (パクタイフの違い パックアップ Office 365 Exchange Onlin パックアップ Office 365 SharePoint Onli パックアップ Office 365 SharePoint Onli パックアップ IVO または NFS パス上のフ パックアップ II-ジェントペース Unix パックアップ II-ジェントペース Unix

 (6) [デスティネーション] で (4) で作成したデータストアが選択されていることを確認します。
 ※お客様サイトの Arcserve UDP コンソールが、ファイアーウォールの外にあり、NAT 配下のゲートウェイ経由で 復旧ポイント サーバを使用している場合は、[サーバは NAT ルータの後方にあります] チェックボックスにチェッ クを入れてください。ネットワーク機器でポートフォワードが設定済の場合は、チェックは不要です。

ダッシュボード リソース ジョ	ョブ レポート ログ 設定	ハイ アベイラビリティ
プランの追加	リバース レプリケーション	🔲 このプランを一時停止
タスク1: リモートで管理されている RPS からレプリケート	タスクの種類リモートで管理されてい	いる RPS からレプリケート 🚽
 タスクの追加 	ソース デスティネーシ ョ	ン スケジュール 拡張
製品のインストール	復旧ポイント サーバ	udp-svr
	データ ストア	DS001 -
	サーバは NAT ルータの後方にあります: ホスト名/IP アドレス:	
	ポート	8014

必要に応じて [スケジュール] および [拡張] メニューの設定を行い、プランを保存します。



(7) (6)で作成したプランを共有プランに追加します。[設定] - [共有プラン] にて [追加] をクリックします。



- (8) [ユーザへのプランの割り当て] 画面で (2) で作成したユーザ名 (例:udp-remote)を [ユーザアカウント] で選択
 - し、[利用可能なプラン] に表示されたプランを [選択されたプラン] (右側) へ適用し、[OK] をクリックします。

ユーザへのプランの割り当て	e ×
ユーザアガウント vdpmemote v 説明 使用可能なショウニンフ	澤根されたゴラン
	■ 7554 ■ リバースレプリケーション
	» > <
🕅 🔺 ページ 🚺 /1 🕨 🔰 🥏 1 - 1/1の表示	
A#7	0K **>±0

Arcserve UDP Cloud hybrid からバックアップ データを受け取るためのお客様環境での作業は以上で完了です。



<Arcserve UDP Cloud Hybrid の設定>

次に、Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールから、以下の作業を行います。

(9) [すべてのプラン] で、既存の利用していたリモート管理からのレプリケート プランを右クリックし [変更] をクリックします。

arcserve	e" UNIFIED	DATA PROTECTION				
53525 K (99-2	95 V	キト 亡り 数定				
	152	4/20/5/				
▲ アード ★<100 - ト	112	o - 7706680				
752-0000V- P	12	772-8	9	18/-P		XX-93.
Endored Online 2-14		_	Att 💿	0	•	
Uncertain State	11	1704 - K (210 791 1)	変更	15	C	O PERSONAL
> 755 812-4	12	i∠7k/r→i+ 000 tW_ M	של-	3.	1	
4 733 2/11032-	1	12.5-1-00.00100	削除	1		O 19-200
a デスティネーション 1月日ボイント・ケージ			今すぐ展開 一時停止	-139		
Action Williams 1757 共和2548 5351 円がたと			今すぐレブリケート			
共有254歳 ゆううドアカウント リア・トロンシール			今すぐレブリケート			

(10) [タスクの追加] をクリックし、 [タスクの種類] で [リモートで管理されている RPS へのレプリケート] を選択しま

プランの変更	レプリカート (3)	ID_IW_IM_IC)	0007924-44
カスクト リモート で管理されている 〇 ドマニ からレプリアート	93.90 1618	 Accenve Claud へのレプリケート アレーアードロトバックスト	•
40.02		リモートで管理されている RPS へのらつ レフリワート 依認えたパイ	为ケート
		機種スケルドイ	



(11) [デスティネーション] タブ内で、[リモート コンソール] - [追加] をクリックし、お客様環境の管理コンソールを

追加します。

ユーザ名

7027-F

#-+ 70134

7920)変更	1-759-1-00	COLUMITATIO		□307524一時停止	- 041
タスクトリモートで管理されている 和ちからレクリケート	o 922088	リモートで管理されて	(18 RPS 1067)	5-5 -	
33か2 VE-トマ記録5れている 中学 へのレブリアート	y-3	デスティネーシ	27531	-12	
B 9276illite	98-トエンジー ユーザ名	6		-	ian:
\$680-C/2F-W	70.9-F				
	#- }		8015		
	70134 70456418	t	SHITP OH	пра	
	7945.9-0		1		

udp-remote (お客様コンソールで追加した管理ユ

パスワード

O HTTP . HTTPS

8115

□ プロキシ サーバを使用して構成する

^87	OK	##C/06				
12) リモート コンソールのi	追加が完了したら、下へ、	スクロール	し [接続] を	クリック、((6) で共有し	たプラン

(12) リモート コンソールの追加が完了したら、下へスクロールし [接続] をクリック、(6) で共有したプラン (この例で は「リバース レプリケーション」)を選択して、プランを保存します。

ーザ

	接続	
プラン	リバース レプリケーション	-
レブリケーション ジョブが失敗したとき:		
再試行開始	10	分後 (1 ~ 60)
再試行	3	□ (1~99)



(13) [リソース] - [ノード] に移動し、[すべてのノード] から、レプリケート対象を右クリック、[今すぐレプリケート] をクリックします。

ジッシュボード リソース	Sad Un	ペート ログ 設定	ハイ アペイラビリティ
	€ J-k	すべてのノード	
* J-F #<((0)-F	795	c/ - /-Provilita	7(89 = »-
プランのないノード	10	ステータス ノード名	with
 アラン ラルーブ アラン まべてのブラン アスラ ィネージェン ・第日本イント サーバ Accenve Backup サーバ ・第日本イント ローバ ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・シュード ・第日本・ショード ・第日本・ショード ・・・・・・・・・・・・	X	O nipuse	更新 相愛# エラスポート フランの定更 ハイパーパイザの指定
0508 2100-A			- ゆすぐレプリケート

(14) [ノードのレプリケート] 画面で、[ソース] が Arcserve UDP Cloud Hybrid であることと、[デスティネーション] がお客様環境の RPS であることを確認し、[OK] をクリックします。

ノードのレプリケート: udp-svr		×
ソース	テスティネーション	
Arcserve UDP Cloud Hybrid	お客様環境 [データストア]	
[データストア]		
ヘルプ	O	キャンセル

逆向きのレプリケートが完了したら、レプリケートされたバックアップ データ(復旧ポイント)を用いて、お客様 環境でシステムの復旧が行なえます。



Arcserve UDP 8.0 より 「リバース レプリケーション」という機能が新たに使えるようになりました。 リバース レプリケーションでは、前節で解説した逆向きレプリケート とは異なり、 お客様環境の RPS などにポート フォ ワード設定をしなくても Arcserve UDP Cloud Hybrid 上の復旧ポイントをレプリケーションできます。また、ノード単位 で復旧ポイントをレプリケートできる点も、従来からの逆向きレプリケートと異なる点です。 リバース レプリケーションを実行するには、以下の前提条件をご確認ください。

リバース レプリケーションを実行する方法:前提条件の確認

(1) オンプレミスの Arcserve UDP コンソール画面の [リソース] タブから [リモート コンソール] をクリックします。

●95·13 ボード - リジース	진러 나무는 다가 政定	NA TRANSFI							
outer -	* デスティネーション リモートエノ	9-1k							
* J-# # <co -#<br="">751-050//-#</co>	70540 · 96-F 309-	705x2 - 90-8 209-80888							
	E 98-1-329-a	8-+	70F3#	3-98					
- 750-76-7 - 750-750-7 #1720750 #1720750 #18245-750 #18245-750 #18245-7 2007 7300-7 350-7500-6 - (205021507+	o I.a. I' .	arri-	hrpa	Thatlant					

(2) Arcserve UDP Cloud Hybrid の FQDN を選択し、右クリック メニューから [リバース レプリケーション] をクリッ クします。

歩行はボード リリース	의년 M#+ 107 1818	ハイアベイラビリティ							
11 M.S. 41	e デスティネーション リモート :	エノソール							
* J-F */T6/-5	29542 - 9E-+ 329-Aoidm								
プジンはなんジード	1 9t++ 359+#	8-5	701-3.6	1-78					
+ 752 7.5-7 + 753 * 753 * 743 - 512 # 162752 # 162752 # 162752 # 162752 # 162753 53597 79524 (# 1 22755 + 52753459597	2 	anti 工具 ATM VE-トロンジーを用用のクスト OV(+エルジワセーション	1994	chalaar					



(3) [ソース - データストアの選択] ウィンドウから復旧ポイントサーバ(Arcserve UDP Cloud Hybrid の FQDN)、デ ータストア(Arcserve UDP Cloud Hybrid のデータストア)、ソース ノード(対象ノード)、復旧ポイント(期間の選択)をプルダウンメニューから選択します。

リバースレ	プリケート: 🕨	l et el e		(リモートコ)	シソール)				E		
ソース・データ	ストアの選択										
调日才	1回日ポイント サーバ			AND A CONTRACTOR			Cloud Hybrid FQDN				
データ	217	arcstore01			Clo	Cloud Hybrid データストア					
y-2	ソースノード			·			対象ノード				
间日本	ドイント		4KT		体因状的	日初期の小い	23	加速率(シトの終了日	8		
	日村	129>s)	過去7日間 過去30日間 過去60日間			バックアップの	Rt 29	バックアップ スケジュ	-16		
8	2020/01/21	\$0000	日付期国 すべて	2	00 19	増分		₩ 8			
1078	2020/01/20	00000	and the second s	2020/01/20 22	00.17	18444		EP			

日付範囲を指定して復旧ポイントを絞り込むこともできます。

復日ポイント	日付範囲	•	復旧ポイントの開始日	:	復日ポイントの終了日	<u>::::</u>

目的の復旧ポイントを選択し、[次へ]をクリックします。

	2020/01/20	S000000015	2020/01/20 22 00 17	增分	毎日
E	2020/01/20	S000000014	2020/01/20 9:54:55	フル	カスタム
	2019/12/19	S000000012	2019/12/19 13:00:19	フル	而日
0	2019/12/06	S000000009	2019/12/06 13:00:19	增分	毎日
	2019/12/05	5000000008	2019/12/05 13:00:15	フル	毎日



(4) 次にレプリケート先を入力します。復旧ポイントサーバ(オンプレミス)、データストア、ノード名を入力し[次へ] をクリックします。

リバース レプリケート: 📲 📲 📭	an a	■ リモート コンソール)	
デスティネーション			
復旧ポイント サーバ	18	オンプレミスの復旧ポイントサーバ	•
データ ストア	DS	上で指定した復旧ポイントサーバのデータストア	•
ターゲット ノード名	RR_	ノード名	
- 復旧ポイントの保存			_
● 手動で削除			
○ 復旧ポイントの削除			
ヘルプ		前に戻る 次へ キ	ャンセル

復旧ポイントの削除を選択すると、復旧ポイントを自動で削除できます。

- 復旧ポイントの保存	
○ 手動で削除	
🖲 復旧ポイントの削除	2021/09/01

(5) 電子メールアラート、再試行間隔、再試行回数を設定し、[完了] をクリックします。

東境設定 2ラート設定	
電子メール アラートの有効化	□注: 電子メールの設定を行うには、【設定】 > 【電子メールとアラートの環境設定】 に移動しま す。
ジョブ アラート	□ リバース レプリケーション、失敗/クラッシュ
バース しつしたーション ジョブキ	 リバース レブリケーション、成功
バース レブリケーション ジョブ失 バース レブリケーション ジョブ失敗時 試行開始	UNI-スレプリケーション、成功



(6) [ジョブ] タブの [進行中のジョブ] から進捗を確認できます。

arcserve	UNITED DATA PROTECTION					• 395-20	- and - all
Section Contraction	2 년 - 21년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년	860m					
	 3(*+ x/m); 						
dif 10.0	- 200 G -					Dectedado de 17	1. North
S BT 27-TAX-2	T 24-02 125	1-FS	6 x 2000	311.5	M 4 120		WERE AND A CONTRACT OF A REAL
 TELETION 	 KANSON 	1991 A	21.0e1 - 9102	1.5	A DESCRIPTION OF THE	84	
0 382.57	[7] \$ 17.7 - 5.598	44521	2014/26110-012		 Diamentarian and 	- 7 m -	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •							
Clearco							



4.3 ファイル/フォルダのダウンロード(Windows/UNCパス)

Arcserve UDP Cloud Hybrid にレプリケート済みのバックアップ データから、ファイル / フォルダのダウンロードが可能です。

 Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールの [リソース] タブで、左ペインから [復旧ポイントサーバ] を選択し、 ダウンロードするデータが含まれるデータストアを選択、 [復旧ポイントの参照] をクリックします。

arcserve	UNIF	IED D	ATA PROTECTI	DN	
ダッシュボード リソース ジロ	+ 	レポー ポレ	トログ設	定 e c e u u	. e
≪ ▶ ノード ▶ 仮想スタンパイ	7. 7	人丁イイ クション	к—УЗУ, (ğты) Г•	איזע או	4
 ▶ グラン ▲ デスティネーション 復旧ボイント サーバ 		8			አም-ቃአ :
Aroserve Backup サーパ 共有フォルタ クラウド アカウント リモート コンソール				復旧ポイC RPS ジャ)	● 小の参照 ンプスタート

(2) [サマリ] 画面で表示されたノードを右クリックし、[リストア] を選択します。

Windows エージェントのリストア画面が表示されるので、ダウンロード対象の右側のダウンロード アイコン

JX1-2						18
<mark>合 橋田ボインナ・の参照</mark> is/how/#SSi						Ĩ
毎日ポイントリーバ。	1				7.E	
7 2317	100				ter	
1-15						
100 CH-040						
4 TH 2018 - +	AR MOR	600	バックアップの 特定	40		
	20 77 61	H7 1011	1212			
ансан ант. 9 ж. се н						
4 1 8 1 8 1 1 1						
91	6/8		#MHW		947	
BIRE	* D =2					8
0.00 0.00	- 🖬 🖬 30	80	2013/15/14 11:36-32	É.		
6.00 - 12,00	P 🖬 🛄 🕾	hb	2018/05/03 11:36/02	ڪ	_	
12.00 - 18.00	- 0 = H	NE 2	2013/05/03 11:36:02	4		
1243-000 (1)	031	ы	2015/07/28 0 51:52	*	10.06418	
		td	2015/02/28 # 24/26	*	6/5-64-	
			-	_	_	_

ードする方法



4.4 Microsoft 365 のリストア

Microsoft 365 のバックアップ データからリストアする方法は、以下のガイドをご覧ください。

Arcserve UDP 8.x Microsoft 365 バックアップ/リストア ガイド – SharePoint Online <u>https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/udp-80-M365-backup-guide.pdf#page=25</u> Arcserve UDP Cloud Hybrid では、「ディスクにデータをエクスポート」機能はサポートされていません。

Arcserve UDP 8.x Microsoft 365 バックアップ/リストア ガイド – Exchange Online https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/udp-80-M365-backup-guide.pdf#page=6

Arcserve UDP 8.x Microsoft 365 バックアップ/リストア ガイド – OneDrive https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/udp-80-M365-backup-guide.pdf#page=43

Arcserve UDP 8.x Microsoft 365 バックアップ/リストア ガイド – Teams https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/udp-80-M365-backup-guide.pdf#page=66



4.5 ファイル/フォルダのダウンロード(Linux)

Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンピュート リソースをご契約のお客様は、Cloud Hybrid 上にある Linux OS のバック アップから、ファイル / フォルダ単位のダウンロード機能が利用できます。

(1) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールの [リソース] タブで、左ペインから[Linux ノード]を選択し、対象ノードの右クリック、メニューから[リストア]を選択します。

arcserve	UNIFIED	DATA PROT	ECTION				
ダッシュボード リソース	ジョブーレオ	K DV	設定				
1.111.4558		Linux 2-8					
4 J-F #//7/0/-6	* 702	av + 💷 V	一ドの追加		7469 ×	(7/16考读用盘6)	
プランのおいノード	12	27-92	1-18	VM &		עדינ	
 Hyper-Vガルーブ Exchange Online ノード Grandblater Calling Jード Grandblater	N	0	centos /b	 更新 自時 エちスポート・ ブランの変更 ハイバ・バイザの構造: 今年でレブリケート 		U 295-Foid IW IH	13
すべてのノード 審決からら> 3.5ンパイ VM 集行中	ľ.			パックフップ パスワードの接着 123ドア インスタント VM の作品			

(2) ブラウザが開き、リストアタイプの選択画面が表示されるので、[ファイルのリストア]を選択し[OK]をクリックします。

arcserve w	FD DATA PROFECTION		1944: ····		
いックアップサーバ	ノード ウィザード	УаЛ	パックアップストレージ	9-16	
	. 🖾 🗰 😥 . 🛃		an 8 an	Q	
パックアップ サーバ	載要 レード 高 タョブステータス	「風 ショブ東京 アクティビ	ティロダ 「バックアップストレ	-2	
	9-700.88		リソース住民学		
	06 /(->⇒> Debian GNU/Linu	x 9.11	CPU 使用率:	1%	
	(新聞時間): 0 년 00 8년월 20 1	9	物理メモリ (空き/合計):	1.412 GB(7.78 GB (2.0%)	
	●行用ジョブ: 0		スワップサイズ (空き/合計): 14.95 (25/14.95 (28 (99%)		
	リストアユーディ リティ: インストール売り	r	インストール ボリューム サイズ (サル/わけ): 105.30 GB(181.15 GB (91%)		
	バックアップストレーコ				
	パックアップモ	Mail Mail	2110-1Z	1208	
	OB	57 571 7390EBS	-		
	J−F ti⊋U	テイルのリストア	ru -		
	*(H E)227	OK 2920	2-1:		
			🧧 🛠 🚯 : 0		
	- 687 #MERTUS/	- พิศณะ(ชวระว	■ 7: 0 1	利用可能なデータがありません。	
	-10	Hitte: 0	\$ 7		



(3) バックアップサーバの選択画面で[次へ>]をクリックします。

リストア ウィザード・ファイ	(R. 92) FP	×
**	撤回ショブを実行するバックアップ サーバを指定します。	
パックアップ サーバ	パックアップサーバ chy-ameracijot-lis.accervat.com *	
	≥ 500	-
AIR/ACAN	① パックアップサーバでは、ターゲットマシンと、復日ポイントが保存されているネットワークストレージへのアクセスが必要です。必要なネットワーク接触が利用可能であることを確認してください。	
Ľ		_
ターダットマシン		
3		
רצ ה	XA> \$4240L AJ	LZ .

(4) [接続]ボタンをクリックして、表示された復旧ポイントの一覧から、ファイル / フォルダ をダウンロードする復旧
 ポイントを選択して、[追加]をクリックします。

and so it is not a set of the local division	セッションの場所	RPS	✓ dij-arcservejp1.a	rcservet.compar	ostore 👻 🗲	O Elc	1 (Q)
クアップ サーバ	マシン	centus75			~		
	日付フィルタ	開始 19/11/26	四 終了	19/12/10	B		量 133
	558)		12:0	名前	開号化アル ゴリズム	2052>1(2	9-F
東田パイント	totale 👩 🖬 🕅	2/3 1 🐼 100020	BACKUP_INCREMENTAL	5000000005			
	🛐 🏴 😳 2019/1	2/2 午線 1:00:23	BACKUP_INCREMENTAL	. \$000000005			
	🔀 🎮 🌍 2019/1	1/30 牛後 1:00:22	BACKUP_INCREMENTAL	5000000001			
	💦 🍽 🕕 🗵 2014/1	1/29年後190629	BACKUP HULL	5000000002			
ゲット マシン	1						
	リストアするファイ	ルフォルター			9	() AU	X FRA
668	ファイルフォルタキ	1			PRI-HER	サイズ	
44007							
100	1						



(5) 選択したバックアップ データから、ダウンロードするファイル / フォルダを選択し、ダウンロード[▲]ボタン
 をクリックすると、ファイル(フォルダは ZIP ファイルで) ダウンロードされます。

使弱-centos75-50000000005					ж
現在心理時(/eschusconfe		アクション・			34 HAR
 Setroubleshoot Setuppold 	* ファイルフォルダモ	1	ExiBia	-	94%
i 💋 sgmi i 💕 skel	in plables config	2	018/4/12 午後 5:42:25 018/4/12 午後 5:42:25	*	2.34 KB
 Image: Street in the street of the street of	im repairner	2	018/4/10 牛後 8:31:59 018/4/12 牛衛 5:45:07	*	-1 1-71, 609
≥ 😝 seda ≥ 💕 sed	in the second	2	019/11/22 午禄 2:44:18	*	180754F
 i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	Ibwitd	2	010/4/10 牛獲 8:28;44 018/4/12 牛後 9:59:55	1	168 /5-7 P-
 Ownerstag Octop Octop 	man cb metconade	2	014/3/17年後 4:19:17 018/4/11 午朝 5:09:53	≜ ▲	2007/FrF
E modules E network scripts	network	2	019/11/22 午後 2:44:25	ż	32754F
0 📁 syscild	· H + K-91 /2	NH C		42 件中	1-25 件を表示



Rev:2.1

4.6 WebDAV を使用したデータのダウンロード(Linux)

Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンピュート リソースをご契約のお客様は、Cloud Hybrid 上にある Linux OS のバック アップをマウントし、WebDAV を利用したファイル / フォルダ単位のダウンロードが利用できます。

(1) Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールの [リソース] タブで、左ペインから[Linux ノード]を選択し、対象ノードの右クリック、メニューから[リストア]を選択します。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION				
ダッシュボード リソース	ジョブ レオ	ペート ログ 設定				
	-e ∠_P	Linux 24-14				
# J-F	* 705	ョン・ ノードの追加		7469 =	(74.15)済用ない)	w
プランのないノード	12	ステータス ノード名	VM &		552	
)) Hyper-V UIレーブ Exchange Chine ノード Sha wPairs Chine ノード OneDrive ノード	2	O cur use/5	更新 例除		1/29/7: 5(310,1%) M	10)
Linux ノード ト ブラン グループ ト Linux パックアップ サーバ グループ			ゴランの定意 ブランの定意 ハ・0キーパイザの指定			
● 仮想スタンパイ すべてのノード	4		今すぐノブリケート バックアップ パスワードの設定			
要アウション スタンパイマM 実行中			52F7 インス50F VM @作成	-		

(2) ブラウザが開き、リストア タイプの選択画面が表示されるので、[復旧ポイントのマウント]を選択し[OK]をクリックします。

598989-15	1-5 3	ウィザード	21	1199795514-9	¥-4			
			10200 23 999 10200 2 400	0 12 00				
1.27797 V A	柳田 ノード 黒タン	317-41 Dout	109729	105 150-537	-6-3			
	计一次情報			. US	-SEAT			
	0570-50500	Debian GNO/Linux 5.15		CR	使用车:		38%	
	ANTE:	E 12 19 19 19 10 17		5	(小白)(空白)(白山)		1.0.08/1.8.8	6 (22ml)
	30+00=7:	£		23	シップ ビイズ (中中)米田 ()	6	14.55 SR(14.90	GR (6994)
	9.81-2 - 7-07-4	インストール売了		23	ан <mark>-н ж</mark> оц- <u>ь о</u>	e X (Semilart)	165.36 (8)(6).	12 GD (9136)
	AN0203 214-0			L				
	パックアップス				Na	46- 1 7	(ē.	DROH
) 5-0-94		U2FF 9478	att.	× u			
		≉म ाकर, - 5√8	C 37-6000	21-7 990011 01 1-10-26				
	₩ P9-2-19 6			· 748:0	77	4.07	3≦v≠−2‼)	edella.



(3) [次へ>]をクリックします

リストンウィザート・復日オ	เสวโตสต์วริ	×
R90797 9-K	項目ジョブを実行するバックアップ サーバを指定します。 パックアップ サーバ descrategi-transtruction (*	
BIRM-T>F	 () 成長 () パックアップ サーバでは、ターゲット マシンと、 御日ボイントが保存されているネットワーク ストレージへのアクセスが必要です。 必要なネットワーク感情が利用可能であることを含むしてください。 	
9 79	300× 340200L N	u./

(4) [接続]ボタンをクリックして、表示された復旧ポイントの一覧から、マウントする復旧ポイントを選択して、[次へ >]をクリックします。

アップサーバ	セッションのに対	RPS	110	10 m 10 m) an (1) 🗾	- (R)
-	REZENS	第2 第4日4日 第22 21/01/17	- 13 #7	21/01/11	8	思	112
	8571		85	SIT	44600	Everative P	
	器 (1) 2421, 第 (1) 2421,	9,01 ≑≹ 4:01:25 1,/81 ° 80 4:21 37	RECENTION OF THE SECTION OF THE SECT	5000001002 5000001001	3		
							_
\mathbf{v}	1.		And the martin			in .	



(5) 復旧ポイントの共有方法: [WebDAV]を選択、一時的に共有する共有ユーザ名とパスワードを設定し共有を有効に する時間を設定したら[次へ>]をクリックします。※ユーザ名は、そのまま共有フォルダ名になります。

リストアウィザード・編目	ACCESSION AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN	2
лэ <i>өтэт</i> и -к		
	地理領域を設定して小規を保護します。 ユーザ名 パスワード パスワードの純短 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	NAST. (NK)	
U26	(4) 	3

(6) サマリ画面で設定内容が確認できます。確認が済んだら[サブミット]をクリックします。

***	ਜ਼ਵਨ	
1007079-11-11	バックアップ サーバ:	A NAME PORT AL
	リストアの種類	個日ポイントのマウント
	セッシュンの場所	They have been a
単日示イント	452	15.56 (1875)
	痛日ポイント	5030600002
À	復旧ポイントの共有方法:	WebDW
	ーアクセス制制	
	1-77,	benginser
0	共有を中所するまでの時間:	1 (10 10) .
949	ショフ名 信用ポイントのマワント-2122/11/5 年間 8:02:42	
	(#5	4750K 49000 ALT



(7) サブミットされると、復旧ポイントのマウントジョブが動作します。

Grcserve m	ALI WA MORADA	919-1-	937	REPERTANCE 9	-# 02235 /	最近のイベント	ログの表示
C 23 28 (● 010年日 20月日 ● 410月日 ● 11日 ● 410月日 ● 11日	0 23 28 00 14	7+1.02	ノード名: centos75 復旧ポイントのマウント: 2019/12/19 13:48:24 0%	≣¥≲⊡
👮 otj-arcsenstpi i ba	n 92./S 92./S	02/088 94/	24-1, × 7450 24-1, ∎01,24	92,1 ×7-50 92,1 ×1-2	20 〒ペT * 単数の転数 ステーカス 第27時段	経過時間: 00:00:27	0+#W
	b (2567)-146702 1-3080004 48 10	30 SEAS	都にいった。 たたので、 たたでのと、 ののののので、 のののののので、 ののののののので、 のののののののののの	成にパイントを共有し ます	C+ 797+7 2000004	※コンソール画面からでも、復旧ポイ マウント中か確認できます。	ントが

ダウンロードを実行したい端末でブラウザを開き、以下の URL を入力します。<Cloud Hybrid の FQDN> は [Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報のお知らせ]という件名のメールのうち、[Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンソール URL] の FQDN を入力してください。

https://<Cloud HybridのFQDN>:8018/share/<ユーザ名>

をクリックし詳細画面から Arcserve Cloud Hybrid FQDN> に進む(安全ではありません) のリンクをクリッ クすると、以下のように認証画面がポップアップ表示されるので、(5)で設定したアカウントとパスワードを入力し ます。※ ご利用のブラウザやブラウザのバージョンにより動作が異なる場合があります。



(8) 正しく認証されると、以下のようにバックアップ データにアクセスできます。リンクから対象ファイルの ダウンロードや、テキストファイルの内容を確認できます。

T There in the second s							
< > Q Amminant	~ G O P R B						
Threatery Using Fer (Just) - Up Te (/)							
(Tenene	Site	Let Macillad					
585. [°]		AND IN ANY ANY ANY ANY ANY					
		ex., it is a rest and rest.					
144		N. 5 (4 12) (5 1 (6 1 (7)					
rm. ¹		26. B. (a. 220 (26.B. 27.64)					
6.2		ars 11 44 201 July 20 41					
		4 - 0.82, 225 (Million 4 + 1)					
		N 1 1 No. 201 10.3 (194)					
		2m. 81.001008 008 00 001					
142		AP, IL AL YOU HAP STOL					
1.1		N., 5.41 (25.97) (1.41					
és.		4. 2.0 22 PF 1141					
1.12		AND IN CONTRACT OF COMMENT					
1.062		No El AL ESTINE LA ME					
iani'		No. 8 (2002) (5 A 98-61					
		5.04.21 LB.301					
<u>M.</u>		THE REPORT OF A DESCRIPTION OF A DESCRIP					
30		27, 621 THE BR 210					
1.0		5.1162108301					
80. ⁻		L. C. M. M. M. L. M.					
a.,		W, Los M at the set					
E.03.		11 E 14 12 25 46 4 61					
spectar i secon fina ca							



5. 代替 VM の起動とアクセス

Arcserve UDP Cloud Hybrid 契約時に、コンピュート リソースのサブスクリプションを購入することで、Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製レプリケートしたバックアップ データから、インスタント VM/仮想スタンバイ機能を利用し、本番 システムの代替仮想マシン(以下、代替 VM)を起動できます。この章では、Cloud Hybrid 上のハイパーバイザー (Hyper-V) にアクセスして代替 VM を起動する方法と、この代替 VM に VPN 経由でアクセスする方法を説明します。





5.1 OpenVPN クライアントを利用したポイント対サイト接続

お客様のシステム管理者は、代替 VM を管理するために、OpenVPN クライアントを利用して、Cloud Hybrid 上の仮想環 境にアクセスする必要があります。

- ※ OpenVPN は一般ユーザが代替 VM にアクセスする際にも利用できます。一般ユーザ向け VPN 接続専用アカウント (druser) を希望される場合や、サイト対サイト接続については、Arcserve UDP Cloud Hybrid 注意/制限事項をご 確認ください。
- OpenVPN の<u>リンク</u>から OpenVPN クライアントをダウンロードしてインストールします。なお、管理者 (clouduser)は、Cloud Hybrid 上の仮想環境を Hyper-V マネージャーから管理できます。

Community Do	waxa xoq koo ownloads	ann Garnariy Tolliabal	Page 6 sec
Community Do	ownloads		
Up w/WH Zh 7 ~ Hele used 21 Help 1724			.+
etXc.30 Fulls,port ell'entre 1905	prodital waka cakinyin 3.5.4 Pa anyiPh 26	kil katy staglo Hakke tot activited to	ana an tar
nume tarica il (gidpi	Ourospean	spenning a tauga	
enca tip	01.00 Seven	Queroje - 2.5.1.18	
lindows 32-bit MSI installer	Grand Generation	5945094-0,5 3-600-08.54	
Indows 64 bit MBI installer	ChuPG Commune	QMWFH-21.1-K62-480K4.8	al .
	Graff Spears	Specie militaria 2 4 800- empirica	
-	area algo ndowa 32: bit MEI kastalika ndowa 64: bit MEI kastalika ndowa 64: bit MEI kastalika	Arte Sile Section Sectio	Arra Sp. Sould Several general Control Control Index 32 Let Millionality On 65 General Control Andrews Control Andrews Control Andrews Control Andrews Control Contro

(2) 画面の指示に従い、OpenVPN を Cloud Hybrid の管理に使う PC またはサーバにインストールします。 インストールが完了したら、ライセンス証書に添付されていた OpneVPN 設定ファイルを

"c:¥Program Files¥OpenVPN¥config" フォルダヘコピーします。(管理者以外が接続する場合は、druser) 管理者(clouduser)用 -般ユーザー(druser)用

				表示						
Tes > Open/JPN > config				D-PNFUS (E) > arcserve-closers > diusers						
58	完新日時	18.12 11	947	-510	~	更新日時	1 .5	243		
-4) ca	201W12/10 15:38	16470141141146	2.63	100		2020/01/16 13:17	1945月74回日書	2 83		
douduse!	2019/12/10 15:36	セキュリアイ時可當	0.58	a) chasers		2020/05/16 13:47	セギュリティ加明書	b 83		
O desetser	2010/12/10 15:05	Open/IPN canilg it.	1.68	drusers.key		2020/01/16 13:47	KEY 794%	2.68		
READWE	2019/12/10 15/86	アラストドキセスソウ	1.68	drusers ovpro		2020/01/16 13;47	DVPN 7:+13-	1.68		



(3) タスクトレイに OpenVPN のアイコンが作成されているので、右クリック メニューから[接続]を選択します。



(4) パスワード入力画面が表示されるので、clouduser / druserのパスワードを入力します。

※clouduserのバスワードは、[Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報のお知らせ]という件名のメールに 記載されています。druserのパスワードは、Arcserve テクニカル サポートからのメールをご確認ください。



接続されるとタスクトレイのアイコンが接続中の表示に変化します。



5.2 Cloud Hybrid 上のハイパーバイザーへ接続

VPN 接続後、管理者(clouduser)は、Cloud Hybrid 上の代替 VM の構成を Hyper-V マネージャーを利用して確認できま す。デフォルトで起動している、VPN・LBS(Linux Backup Server)仮想マシンのシャットダウンや仮想スイッチの設 定を変更等はしないように注意してください。

※仮想環境の変更を希望する場合は、Arcserve テクニカル サポートまでご相談ください。

(1) Cloud Hybrid 側のネットワーク アドレスはデフォルトで、192.168.XXX.0 / <mark>28</mark> になります。

```
XXX=Arcserve UDP Cloud Hybrid の Global IP アドレスの第4オクテットです。
```

Hyper-V ServerのIPは、192.168.XXX.2 になります。

管理者用端末から VPN 接続後、管理者権限で PowerShell を開き、環境に応じて以下のコマンドで、Hyper-V マネージャーをインストールします。

Windows Server の場合: Add-WindowsFeature Hyper-V-Tools, Hyper-V-PowerShell

Windows 10、11の場合: Enable-WindowsOptionalFeature -Online -FeatureName Microsoft-Hyper-V-Tools-All -All

Windows PowerShell Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.						
PS C:\Users\Administrator> Add-WindowsFeature Hyper-V-Tools,Hyper-V-PowerShell						
Success Restart Needed Exit Code Feature Result						
True No Success {Windows PowerShell 用 Hyper-V モジュール, PS C:\Users\Administrator>						



(2) 次に Windows リモート管理と CredSSP を有効にします。

PS C:\Users\Administrator> Enable-PSRemoting PS C:\Users\Administrator> Enable-WSManCredSSP -role client -delegatecomputer "<Hyper-V IP>" WS-Management の CredSSP 認証の構成 CredSSP 認証を使用すると、このコンピューターのユーザー資格情報をリモート コンピューターに送 信できます。CredSSP 認証を使用して安全でないコンピューターや危害を受けたコンピューターに接続すると、そのコンピ ユーターから自分のユーザー名 とパスワードにアクセスできるようになってしまいます。詳細については、Enable-WSManCredSSPの ヘルプ トピックを参照してください。 CredSSP 認証を有効にしますか? [Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "Y"): <mark>Y</mark> : http://schemas.microsoft.com/wbem/wsman/1/config/client/auth cfg lang : ja-JP Basic : true Digest : true Kerberos : true Negotiate : true Certificate : true CredSSP : true ←ここが「True」になっていることを確認

(3) コマンドとパスワードを入力して"clouduser"を資格情報マネージャーに追加します。

PS C:\Users\Administrator> <mark>cmdkey /add:"<Hyper-V IP>" /user:clouduser /pass</mark> '<Hyper-V IP>' に接続するための 'clouduser' のパスワードを入力してください:

CMDKEY: 資格情報を正しく追加しました。



(4) WinRM のリモート管理で NTLM 認証を利用可能にします。

PS C:\Users\Administrator> <mark>winrm set winrm/config/client '@{TrustedHosts="<hyper-v ip="">"}'</hyper-v></mark>
NetworkDelayms = 5000
URLPrefix = wsman
AllowUnencrypted = false
Auth
Basic = true
Digest = true
Kerberos = true
Negotiate = true
Certificate = true
CredSSP = true
DefaultPorts
HTTP = 5985
HTTPS = 5986
TrustedHosts = <hyper-vip> ← TrustedHosts に追加されていることを確認</hyper-vip>
PS C:\Users\Administrator>

(5) ファイル名を指定して実行へ "gpedit.msc" と入力し起動します。

[コンピューターの構成]-[管理用テンプレート]-[システム]-[資格情報の委任]に移動し、

[NTLM のみのサーバー認証で新しい資格情報の委任を許可する]オプションをダブル クリックします。





設定画面が表示されるので、[有効]オプションを選択し[オプション]タブから[表示]をクリックします。 [値]に以下のバラメータを追加して [OK] → [OK] を順にクリックし、グループポリシーエディタを終了します。 wsman/<Hyper-V IP>

💭 NTLM のみのサーバー認証で新しい資格情	銀の委任を許可する	Ð	×	
NTLM のみのサーバー認証で新しい資格	i情報の委任を許可する 前の設定(P) 次の設定(N)			
○未構成(C) □x2小: ● 有効(E) 1 ○ 無効(D)				
サホートされるバージョン:	Windows Vista 以降		2	
オプション:	表示するコンテンツ			×
サーバーを一覧に追加: 表示 2 ☑ OS の既定値と上記の入力値を連結する	fit wsman/ <hyper-vipx 3<="" td=""><td></td><td></td><td></td></hyper-vipx>			
) (計可す)	キャンセリ 5*	L(C)
	ポリシー設定は、1 つ以上のサービス プリンシバル名 (SPN) す。SPN は、ユーザー資格情報を委任できる対象サーバーを CDN をや守する際 田二のロスロドカードや今を応用できます	に設定で 表します *	ðā -	
	(5) OK キャンセル	這用(A	4)	

(6) Hyper-V マネージャーを開き、[サーバーに接続(C)] を選択します

Hyper-V V	-50-	100			-	×
→ 100 100		7(04)				
Hyper-Vマオ サーバーに接続(QL) 表示(S) ヘルプ(L)	the of the section	6	ser-いマネージャーは、何想化サーバーの管理に使用するため	操作		
	-+	「一」や情報を提供します。	Hyper-V マネージサー			
		- 뛝 サーバーに接続				
		۲	表示			
		仮想化 コンピュー 一上にの	デーパーは、仮想マシンの実行に必要なリソースを提供する物理 ーターです。HopeーV マネージャーを使用すると、仮想化サーバ を聴マシンを作成し、それを構成、管理するとなできます。	NH7		



(7) コンピューターの選択の画面で、別のコンピューター: <Hyper-V IP> を入力し
 [別のユーザーとして接続する]に □ チェックし、[ユーザーの設定] をクリックします。

コンビューターの悪民	
仮想化サーバーに接続	
○ ロ~カル コンピュータ~	
図 別のコンピューター: (Hyper-VIP)	◆8篇(B)
▶ 別のユーザーとして接続する くなし>	ユーザーの設定
	ロボーキャンセル

(8) [ユーザーの選択]の[ユーザー名]欄で、clouduser の頭に「.¥ 」或いは「 ¥ 」をつけて入力します。Cloud Hybrid のパスワードも入力し、[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ Hyper-V マネージャー						
Hyper-V マネージャー						
ユーザーの選択:						
¥clouduser						
•••••						
このアカウントを記憶する						
OK キャンセル						

(9) 元の画面に戻り、[OK] をクリックします

コンピューターの選択			×
仮想化サーバーに接続	-		
SHODンピューター:	(Hyper-VIP)		♣@(B).
🖸 ምመューザーとし	(接続する ¥clouduser	ユーザ	-の設定.
		OK	キャンセル

Cloud Hybrid への Hyper-V マネージャーの接続が完了です。

※ LBS と VPN という仮想マシンが実行中ですが、シャットダウンしないように注意してください。

# Hyper V VT-St- 2/1.(kf) 整理(A) 第世(X) / 1	4.700					
💠 📫 💼 📷 📓 📷						
Harry 72 (P	振聞 (SOI) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	ta Ann Ali- Ali- V	GU-9408	21 00001947 517, MB 517 02	(20058) 1.20,515 7.167613	



5.3 Cloud Hybrid 上でのインスタント VM の利用

Arcserve UDP Cloud Hybrid でも、Arcserve UDP 同様に、コンピュート リソースの範囲内でインスタント VM を利用で きます。詳しくは、以下の URL のドキュメントをご確認ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Cloud-

Hybrid/Available/v1.1/JPN/HTML/UG/default.htm#cloud_how_crt_cloud_ivm.htm

※ インスタント VM で使用するフォルダは、F:¥VMStorage を選択してください。

5.4 Cloud Hybrid 上での仮想スタンバイの利用

Arcserve UDP Cloud Hybrid でも、Arcserve UDP 同様に、コンピュートリソースの範囲内でレプリケートされたバック アップデータから、仮想スタンバイ機能を利用してスタンバイ仮想マシンの作成・起動することにより業務を継続できま す。詳しくは、以下の URL のドキュメントをご確認ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Cloud-

Hybrid/Available/v1.1/JPN/HTML/UG/default.htm#cloud_how_recr_in_arcserve_cloud_using_cloud_virt_standb y.htm

※ 仮想スタンバイで使用するフォルダは、F:¥VMStorageを選択してください。

5.5 Cloud Hybrid とのサイト対サイト VPN

お客様は災害時、Cloud Hybrid 上の仮想環境で動作する仮想スタンバイ VM、インスタント VM に Internet VPN を介し て接続し事業を再開できます。サイト対サイト VPN 接続を行うには、事前にお客様環境の確認が必要となります。

Arcserve UDP Cloud Hybrid とのサイト間 VPN 接続をご希望の場合は、Arcserve テクニカル サポートから申請書を入 手し、ご提出ください。



6. その他の機能

6.1 アシュアード リカバリ

Arcserve UDP Cloud Hybrid では、レプリケートされたバックアップ データが壊れていないことを確認する「アシュア ード リカバリ」機能が利用できます。

Windows OS のバックアップ データではインスタント仮想ディスク方式およびインスタント VM 方式が利用できます。 Microsoft 365 ではインスタント仮想ディスク方式のみが、Linux OS のバックアップ データではインスタント VM 方式 のみが利用できます。インスタント VM 方式を利用するには Arcserve UDP Cloud Hybrid のコンピュート リソースを購 入している必要があります。

アシュアード リカバリを行うには、3章で作成したプランに [アシュアード リカバリ] タスクを追加します。詳細は以下のマニュアルを参照してください。

バックアップ データのアシュアード リカバリを実行する方法: https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Cloud-Hybrid/Available/v1.1/JPN/HTML/UG/default.htm#Hw_per_AR.htm

※ アシュアードリカバリで利用するフォルダは、F:¥VMStorageを選択してください。

6.2 メール通知

Arcserve UDP Cloud Hybrid でも Arcserve UDP と同様にメールによる通知が可能です。

電子メールとアラートの設定:

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-

UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#UDPSolnGuide/udp_cnfg_email_alrt.htm

※ Arcserve UDP Cloud Hybrid のデータストアの電子メールアラートを有効化する場合は、メール通知設定完了後、 Arcserve テクニカル サポートまでご連絡ください。



6.3 レポート

Arcserve UDP Cloud Hybrid では、RPO (目標復旧ポイント) レポートおよび RTO (目標復旧時間) レポートを利用できます。詳細は、以下を参照ください。

・RPO レポート:

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/udp_rprt_rpo.htm

・RTO レポート:

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#UDPSolnGuide/udp_rprt_rto.htm



7. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

7.1 製品情報および FAQ はこちら

・Arcserve シリーズ ポータルサイト

https://www.arcserve.com/jp/

Arcserve UDP Cloud Hybrid 動作要件:
 https://support.arcserve.com/s/article/ARCSERVE-UDP-CLOUD-HYBRID-SOFTWARE-COMPATIBILITY-
 MATRIX?language=ja

・Arcserve UDP Cloud Hybrid 製品ドキュメント: https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Cloud-Hybrid-Product-Documentation?language=ja

Arcserve UDP Cloud Hybrid 注意/制限事項:
 https://support.arcserve.com/s/article/2019082201?language=ja

・Arcserve UDP Cloud Hybrid よくある質問と回答: https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/08/uch-faq.pdf

7.2 Arcserve UDP トレーニング情報

<u>無償トレーニング</u> 半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。どなた様でも ご参加いただけますので、この機会にご活用ください。

https://www.arcserve.com/jp/seminars



8. <参考情報>サイト障害発生時の運用のヒント

Arcserve UDP Cloud Hybrid の DRaaS サービスは、サイト障害時においてもお客様の業務システムを縮退運用可能にする、Arcserve UDP 専用のサービスです。災害発生時 Arcserve UDP Cloud Hybrid を有効活用し、速やかに業務を再開するために、運用のヒントを以下に記載します。

8.1 サイト対サイト VPN 接続元の拠点の検討

サイト対サイト VPN で Arcserve UDP Cloud Hybrid に接続するには、事前にお客様サイトのネットワーク機器での設定 が必要です。しかし、大規模災害によるサイト障害が発生した場合、サーバ機器だけでなくネットワーク機器も被災する ことが想定されます。そのため、サイト対サイト VPN を利用するには、本番サイトとは別の拠点から接続することをご検 討ください。

8.2 ポイント対サイト VPN 接続アカウントの準備

ポイント対サイト VPN 接続は、インターネット環境があればどこからでも接続可能なため、サイト障害時に有用な接続方 法です。Arcserve UDP Cloud Hybrid では、管理者ユーザ用に1つ、一般ユーザ用(VPN 接続専用)に2つの共有アカウ ントを利用できます。一般ユーザ用のアカウントの利用は、事前に Arcserve テクニカル サポートへリクエストする必要 があります。管理者用アカウントを含む共有アカウントは、それぞれ最大 10 セッション同時接続が可能です。災害発生後 のアカウントの作成には時間が掛かる可能性もありますので、事前に申請いただくことをお薦めいたします。

8.3 リモート デスクトップ接続の有効化

Arcserve UDP Cloud Hybrid で仮想スタンバイ、インスタント VM を利用する場合、災害時の代替仮想マシンの設定や調 整を容易にするため、オンプレミス環境でのバックアップ対象マシンでリモート デスクトップ接続を有効にしておくこと をお薦めします。

8.4 ローカル アカウント利用の検討

ドメイン環境で動作していたファイル サーバ等を仮想スタンバイ、インスタント VM で利用する場合、ドメイン ユーザ アクセス権を利用するには、ドメイン コントローラが必要になります。災害時ドメイン コントローラを利用できない場合 や、利用せずにファイル サーバ等を縮退運用されるお客様は、ローカル アカウントの利用をご検討ください。



8.5 ドメイン コントローラの取り扱い

多くのお客様の環境で、ドメイン コントローラが動作していると思います。Arcserve UDP Cloud Hybrid 上でも、バック アップ データから仮想スタンバイを利用してドメイン コントローラを動作させることができます。その際、クラウド上で Active Directory を動作させるため、正常に動作しているドメイン コントローラの最新バックアップから仮想スタンバイ VM を起動します。

その他の注意点として、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で Active Directory データベースを復旧させる場合、権限の無い 復元のみサポートされます。Active Directory データベースの復元が必要なければ、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上の仮 想ネットワーク環境にあわせて、災害時の縮退運用が可能です。

※ 災害時における Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で、ドメイン環境を正常に動作させる Active Directory やメンバー サーバの各種設定については、事前にお客様にて、調査・確認を行ってください。

